

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年5月17日(2018.5.17)

【公開番号】特開2018-46989(P2018-46989A)
 【公開日】平成30年3月29日(2018.3.29)
 【年通号数】公開・登録公報2018-012
 【出願番号】特願2016-183881(P2016-183881)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月27日(2018.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
 前記有利状態と前記有利状態とは異なる非有利状態とにおいて、遊技者の動作にもとづいて演出に関する設定を行うことが可能な設定手段と、
 前記有利状態と前記非有利状態とで異なる態様により演出の設定に関する表示を行うことが可能な表示手段とを備え、
前記設定手段は、前記有利状態と前記非有利状態とにおいて同じ設定を行うことが可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

(手段 A) 上記目的を達成するため、本発明の遊技機は、遊技を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、前記有利状態と前記有利状態とは異なる非有利状態とにおいて、遊技者の動作にもとづいて演出に関する設定を行うことが可能な設定手段と、前記有利状態と前記非有利状態とで異なる態様により演出の設定に関する表示を行うことが可能な表示手段とを備え、前記設定手段は、前記有利状態と前記非有利状態とにおいて同じ設定を行うことが可能であることを特徴とする遊技機。

(1) 上記目的を達成するため、本発明の他の遊技機は、本発明による遊技機は、遊技を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当り遊技状態や高ベース状態）に制御可能な遊技機であって、有利状態と有利状態とは異なる非有利状態（例えば、デモ表示中）とにおいて、遊技者の動作にもとづいて演出に関する設定を行うことが可能な設定手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ 100 が S 7 0 4 a や S 2 9 2 6 を実行する部分）と、有利状態と非有利状態とで異なる態様により演出の設定に関する表示を行うことが可能な表示手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ 100 が S 4 5 0 4 や S 4 6 0 4 を実行する部分。図 3 5、図 4 5 参照）とを備えたことを特徴とする。そのような構成によれば、遊技者の好みに応じた演出を実行可能にすることができる。